

横浜市野島青少年研修センター 平成30年度事業報告

1 体験活動を支援する事業

集団宿泊体験や自然体験など様々な体験を通じて、青少年が対人能力や自己肯定感を育めるよう、利用団体の活動ニーズに対応した運営、及び多種多様な体験プログラムを提供しました。

事前打合せ会では、利用団体の活動趣旨や研修目的を聞き取り、安全かつ効果的な活動プログラムになるようコーディネートしました。

利用促進としては、近隣の小学校から大学を直接訪問してPRを行うとともに、食品関係の企業を対象に電話営業をし、厨房を活用した職員研修を提案しました。

利用者のニーズをくみ取るため、体験プログラムを取り入れた学校を対象としたアンケート、及び宿泊事業の参加者を対象としたアンケートを実施しました。

また、体験プログラムについては、既存のプログラムの安全面を見直すとともに、海活動に適した服装・持ち物案内を作成し、配布しました。

利用団体数： 815件（宿泊利用：466件、日帰り利用：349件）

利用人数： 36,977人（宿泊利用：21,618人、日帰り利用15,359人）

稼働率： 83.7%（29年度：84.3%）

利用団体前年度比：112.6%増

【開館日数・利用状況】

年度	開館日数	利用可能日数	利用日数	宿泊		日帰り		合計		稼働率
				団体	人数	団体	人数	団体	人数	
26	359日	333日	265日	398件	18,624人	247件	8,892人	645件	27,516人	79.6%
27	360日	334日	268日	442件	20,206人	294件	11,032人	736件	31,238人	80.2%
28	359日	333日	268日	423件	20,965人	221件	8,247人	644件	29,212人	80.5%
29	359日	333日	278日	415件	21,438人	309件	13,309人	724件	34,747人	84.3%
30	359日	331日	277日	466件	21,618人	349件	15,359人	815件	36,977人	83.7%

2 青少年を支える人材を育成する事業

青少年指導者・育成者を対象に、研修室及び隣接するキャンプ場を活かしてキャンプファイヤーの実践をテーマにした研修を実施しました。

高校生以上の青少年を対象にした施設ボランティア「のじボラ」、近隣住民を対象とした「海活動ボランティア」を募集し、青少年活動を支える人材を養成しました。子どもとのかかわり方や活動に必要な知識を座学で伝えるとともに、宿泊キャンプや体験プログラムでボランティア活動に参加してもらい、職員のサポートのもと実践経験を積んでももらいました。

3 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

体験プログラムの提供では、野島カリーなど厨房を活用した食育プログラムや、カヌー・いかだ作り・干潟観察など自然環境を活かした体験プログラムなど、多種多様な体験プログラムの提供を行い、多数の参加がありました。

また、体験プログラムの「のじたまくん」や「バードコール」の材料の加工を、県立金沢養護学校と市内の地域作業所に依頼し、課題を抱える青少年に職業体験の機会を提供しました。

地域産業と関係性を育み、金沢区内の和菓子処「菊月」と連携し、親子クッキング教室「和菓子づくり」を実施し、職人ならではの食育事業を提供することができました。

市民活動と協働した体験プログラムでは、3泊4日の「4daysサマーキャンプ」が天候不良で外での活動や移動が困難になったため、1泊2日で施設内のスペースを活用し、食事作りやクラフト等の体験活動を行いました。

地域交流事業では、地域ネットワーク会議で発案された合同防災訓練を近隣の町内会と野島公園と連携して実施をしました。

《目標設定時公表項目》 横浜市野島青少年研修センター

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値
利用者サービス	安全性を高めるため、活動に適した服装や気象に関する情報を、HP等を活用して発信します。 利便性を高めるためアメニティグッズ等宿泊に必要な物品を販売します。	①HPによる体験活動に必要な情報の発信：情報コーナーの開設 ②物品販売利用者数：60人
業務運営	より多くの青少年に体験の機会を提供するために、地域住民や他団体と連携しながら、利用者ニーズや活動目的に適したプログラムを提供します。	①体験プログラム種目数：31種目以上 ②体験プログラム参加者数：21,000人以上 ③施設利用者数：30,000人 ④体験学習校年間80校以上
職員育成	施設管理や体験活動の質や効果を高めるため、職員が研修を通じて必要な専門知識を学び、安全管理能力や企画や研修の知識を向上します。	①防災・避難誘導訓練の実施 年2回実施 ②救急法(AED等)の研修 年1回実施 ③外部専門研修へ各職員1回以上参加
財務	体験プログラムの提供数及び体験事業数の増加による事業収入の増	事業収入 4,450千円

《実績評価時公表項目》

目標設定の視点	運営目標	管理指標・数値	実績値	目標との差異	今後の取組(改善計画)
利用者サービス	安全性を高めるため、活動に適した服装や気象に関する情報を、HP等を活用して発信します。 利便性を高めるため、アメニティグッズなど宿泊に必要な物品を販売します。	①HPによる体験活動に必要な情報の発信：情報コーナーの開設 ②物品販売利用者数：60人	①海活動に適した服装・持ち物案内を作成・配布、潮見表を配布 ②1,013人	②953人増	海活動に適した服装・持ち物案内をHPで発信します。 引き続き物品販売を行い、利用者サービスに努めます。
業務運営	より多くの青少年に体験の機会を提供するために、地域住民や他団体と連携しながら、利用者ニーズや活動目的に適したプログラムを提供します。	①体験プログラム種目数：31種目以上 ②体験プログラム参加者数：21,000人以上 ③施設利用者数：30,000人 ④体験学習校年間80校以上	①31種目 ②23,355人 ③36,977人 ④90校	①なし ②2,355人増 ③6,977人増 ④10校増	現状の利用者・参加人数を保ちつつ、安全かつ効果的な活動ができるよう、施設運営及び体験プログラムを提供していきます。 学校の教育カリキュラムに対応できるよう、既存プログラムの一部変更します。
職員育成	施設管理や体験活動の質や効果を高めるため、職員が研修を通じて必要な専門知識を学び、安全管理能力や企画や研修の知識を向上します。	①防災・避難誘導訓練の実施 年2回実施 ②救急法(AED等)の研修 年1回実施 ③外部専門研修へ各職員1回以上参加	①年3回(町内会・野島公園合同訓練含む) ②年1回 ③1人平均6回(36回)	①1回増 ②なし ③5回増	職員のスキルアップをめざし、積極的に研修に参加させます。 もしもの時に備え、利用者の安全を守るよう、引き続き訓練、研修を実施します。
財務	体験プログラムの提供数及び体験事業数の増加による事業収入の増	事業収入 4,450千円	5,558千円	1,108千円増	体験プログラム及び宿泊キャンプ等の参加費により事業収入5,000千円以上を目指します。

1. 宿泊・日帰り利用状況

月	開館 日数	宿泊 可能 日数	宿泊 利用 日数	利用 日数	点検 日数
4	30	27	14	23	2
5	31	27	19	27	3
6	30	27	24	26	2
7	31	28	28	29	2
8	31	27	26	28	3
9	30	27	24	24	2
10	31	28	23	24	2
11	30	27	19	25	2
12	28	23	9	16	3
1	28	25	9	16	2
2	28	25	10	16	2
3	31	28	18	23	3
計	359	319	223	277	28

宿泊利用				日帰り利用			
団体数	利用人数			団体数	利用人数		
	男	女	計		男	女	計
25	558	585	1,143	32	404	577	981
29	988	899	1,887	39	712	936	1,648
38	1,434	1,302	2,736	42	1,345	1,400	2,745
58	1,336	1,455	2,791	31	742	905	1,647
79	1,596	1,663	3,259	7	62	118	180
37	1,038	977	2,015	34	638	1,183	1,821
36	1,162	973	2,135	27	414	503	917
36	1,058	694	1,752	25	466	565	1,031
29	520	359	879	29	488	715	1,203
23	373	247	620	30	586	639	1,225
25	368	306	674	30	589	644	1,233
51	794	933	1,727	21	265	463	728
466	11,225	10,393	21,618	347	6,711	8,648	15,359

合計			
団体数	利用人数		
	男	女	計
57	962	1,162	2,124
68	1,700	1,835	3,535
80	2,779	2,702	5,481
89	2,078	2,360	4,438
86	1,658	1,781	3,439
71	1,676	2,160	3,836
63	1,576	1,476	3,052
61	1,524	1,259	2,783
58	1,008	1,074	2,082
53	959	886	1,845
55	957	950	1,907
72	1,059	1,396	2,455
813	17,936	19,041	36,977

(1)保守管理業務

ア 建築物の保守管理

設備項目	機器及び設備の名称	点検種別	点検実績
外部仕上げ	外壁、屋根、地面など	日常点検	毎日実施
内部仕上げ	壁面、天井、床など	日常点検	毎日実施

※点検内容：仕上げ材の浮き、ひび割れ、はがれ、かびの発生、美観の維持

イ 建築設備の保守管理

設備項目	機器及び設備の名称	点検種別	協定書回数・頻度	点検実績	
空気調和 関連設備	空気調和機	定期点検	月1回以上	12回	
	全熱交換機			12回	
	パッケージ型空調機			12回	
	ヒートポンプエアコン			12回	
	ファンコイルユニット			12回	
	空調換気扇			12回	
	その他ポンプ類			随時	
	冷却塔			12回	
	冷温水・冷却水ポンプ			12回	
	送・排風機			12回	
電気関連設備	受変電設備	定期点検	週1回以上	毎週実施	
	配線設備（幹線・分電盤等）				
	負荷設備（制御盤・電動機等）				
	負荷設備（照明・コンセント等）				
	配線通信線路				
	構内交換設備				
	外灯設備				
給排水衛生設備	受水槽・高置水槽	定期点検	月1回以上	12回	
	揚水ポンプ・加圧給水装置			12回	
	給湯器・貯湯槽・熱交換器			12回	
	衛生器具類			12回	
その他の 設備管理	ガス設備	定期点検	月1回以上	12回	
	消防設備			12回	
	自家用電気工作物			12回	
	中央監視装置		年2回以上	2回 5/26、11/8	
	濾過装置		年4回以上	4回 6/3、9/6、12/1、3/20	
	エレベータ設備		月1回以上	12回	
	自動ドア設備		年3回以上	3回 5/12、9/8、1/10	
	環境衛生管理		空気環境測定	定期点検	年6回以上
排ガス測定		年2回以上	2回 5/1、11/2		
水質検査		年2回以上	2回 7/18、1/10		
簡易専用水道検査		年1回以上	1回 8/31		
ねずみ・衛生害虫駆除		年2回以上	2回 9/11、3/22		
ダニ及び害虫駆除		年1回以上	1回 3/22		
受水槽清掃		年1回以上	1回 7/19		
雑排水槽清掃		年2回以上	2回 4/14、10/3		
汚水槽清掃		年2回以上	2回 4/14、10/3		
浴槽レジオネラ菌属検査		年2回以上	2回 8/16、3/27		

ウ 備品等の保守管理

項目	協定の内容	実績
備品の保守管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常管理で実施
消耗品の管理	施設の運用に支障をきたさないよう適正に管理する	日常管理で実施

(2)環境維持管理業務

ア 清掃業務

項目	対象・範囲	協定書の回数	実績
日常清掃業務	館内	1日2回以上	毎日2回以上実施
	公園及び側道	1日1回以上	毎日1回以上実施
定期清掃業務	床清掃(洗浄・ワックス清掃等)	月1回以上 (夏休み期間を除く)	12回
その他の清掃業務	カーペット清掃	年1回以上	2回 7/28、3/5~7
	窓枠・窓ガラス清掃	年4回以上	5回 6/6、8/29~30、9/12、 12/11~13、3/5~7
	網戸清掃	年1回	1回 3/5~7
	厨房穴ステンレス及びタイル壁面清掃	年1回以上	1回 10/2~3
	照明器具及び給排気口清掃	年1回以上	1回 2/5~6
	ブラインド清掃	年1回以上	1回 1/9~10
	厨房グリスフィルター清掃	年1回以上	4回 5/5、9/12、12/12~13、 3/5~7

イ 保安警備業務

項目	対象・範囲	協定の内容	実績
有人警備	建物及び敷地内(9:00~17:00)	研修センター内の秩序を維持し、火災等の災害や盗難、破壊等の犯罪の発生を警戒、防止し、来所者の安全をはかり、財産の保全をはかる。	開館日に実施
宿直警備	宿直日(17:00~翌9:00)		宿泊利用日に実施
機械警備	非宿直日(17:00~翌9:00)		非宿泊日に実施

(3)施設保全業務

ア 小破修繕の実施

実施	対象・範囲	内容
6月	売店横男子多目的トイレ	フラッシュバルブ部品交換
7月	1階男子トイレ	小便器交換
7月	宿泊室214号室	ベッド手すり交換
10月	宿泊室101号室	照明機器改修工事
11月	厨房	温水器部品交換
12月	1階避難口・2階通路誘導灯	バッテリー交換
1月	売店横男子多目的トイレ	フラッシュバルブ交換
1月	大浴室	サーモスタット交換

A-あ 青少年活動を支援する事業

事業名	実施日	回数	参加費(1人)	参加者数	備考
施設・設備貸出事業					
宿泊利用団体受入れ	通年		利用料金	466 団体 21,618 人	
日帰り利用団体受入れ	通年		利用料金	347 団体 15,359 人	
一般団体抽選会	毎月第 2 日曜日	4 回		99 団体	
利用者アンケート	通年			354 件	
①施設・設備の快適性と安全性の向上					
職員のスキルアップ・保全研修への参加					
カヌー指導者講習	4/4、5	2 回		5 人	NPO 法人横浜金沢カヌークラブ主催
リードアップセミナー	5/18、24、30～31、6/8	4 回		1 人	県青少年センター主催
体験活動安全管理研修	5/23～25	1 回		1 人	国立青少年教育振興機構主催
避難・消火訓練	7/18、10/14、3/5	3 回		6 人	町内会・野島公園合同避難訓練含む
若者相談支援スキルアップ研修	7/30、11/13	2 回		2 人	横浜市主催
水まわり器具のメンテナンスセミナー	9/21	1 回		1 人	横浜市主催
8 歳までの海遊教室	12/1	1 回		2 人	国立青少年教育振興機構主催
全国青少年教育施設所長会議、施設研究集会	12/6～7	1 回		1 人	国立青少年教育振興機構主催
人権研修	1/16～17	1 回		6 人	法人主催
全国青少年相談研究集会	1/17～18	1 回		1 人	国立青少年教育振興機構主催
体験の言語化勉強会	2/14	1 回		2 人	法人主催
伝わるチラシとプレゼンの方法	2/15	1 回		3 人	県青少年センター主催
食品衛生責任者指定講習会	3/7	1 回		1 人	区食品衛生協会主催
救急法講習会	3/9	1 回		4 人	NPO 法人横浜金沢カヌークラブ連携
傷病者、嘔吐発生時の対応	通年	随時			
②プログラムの相談・コーディネート					
利用相談業務 団体事前打合せ会	毎月第 1～3 土曜日	27 回		180 団体	
学校体験学習事前打合せ会	通年	89 回		107 校	下見含む
学校体験学習説明会		6 回		71 校	
体験学習事前出張	4/12	1 回		1 校	いかだ作り指導
③利便性を高めるため利用者サービスの向上					
給食サービス		8 回	486～648 円	262 人	カレーライス、唐揚げ定食他
④活動風景の発信					
体験プログラムの手順データの送信	通年		—	希望団体へ随時送信	
利用促進事業					
広報活動	4 月	3 回	チラシ配布	85 箇所	夏期利用
①学校宿泊体験活動の利用促進	10、11、12 月	3 回	パンフ配布		市内外含む
②閑散期の大学や企業等の誘致活動					
学校対象利用促進	7 月、12 月	19 回	直接訪問	19 校	
	4 月	1 回	広告掲載		市大運動部連合会会報誌
企業対象利用促進	1 月	10 回	電話営業	10 社	

B-い 青少年を支える人材を育成する事業

事業名	実施日	回数	参加費(1人)	参加者数	備考
青少年指導者育成者研修					
①指導者・育成者への情報提供、相談対応	通年	なし			研修に関する相談なし
②指導者スキルアップ研修会	4/28	1 回	2,000 円	32 人	レクリエーション講習会
ボランティアの養成					
ボランティア研修会 (のじボラ)	4/22、4/30、5/12、11/1、12/21 ～22、2/8～9	6 回		延べ 41 人	登録人数 36 人
プログラム支援ボランティア	通年	190 回		延べ 528 人	

C-う 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業

事業名	実施日	回数	参加費(1人)	参加者数	備考
体験プログラムの提供					
①施設特性を活かしたプログラム					
野島カレー	通年	28回	400円	2,141人	
250カレー	通年	28回	250円	1,521人	
おにぎり作り	通年	1回	200円	24人	
ちらし寿司	通年	1回	500円	115人	
干物作り	通年	1回	学校800円、一般1,000円	96人	
もちつき	通年	7回	枠・白1,000円+200円	308人	
のじたまくん	通年	6回	100円	150人	
手作りプラネタリウム	通年	3回	200円	142人	
ちりめんモンスターを探せ	通年	16回	100円	1,238人	
陶芸	通年	2回	1,500円	45人	
ポーセリンアート	通年	1回	1,000円	15人	
キャンドルファイヤー	通年	91回	無料	6,261人	
レクリエーションゲーム	通年	5回	無料	178人	
館内フォトラリー	通年	6回	無料	391人	
食育厨房利用	通年	28回	50円	1,219人	
②自然環境を活かしたプログラム					
カヌー体験	通年	13回	学校800円、一般1,000円	825人	NPO法人横浜金沢カヌークラブ協力
いかだ作り体験	通年	28回	学校300円、一般500円	1,924人	
干潟観察	通年	25回	100円	1,512人	
カニ釣り	通年	23回	100円	1,289人	
ミニ水族館	通年	3回	基本料3,000円+50円	35人	
漁師体験	通年	7回	100円	340人	
ハゼ釣り	通年	1回	200円	40人	
ビーチグラス	通年	9回	500円	672人	
化石レプリカ	通年	9回	100円	228人	
バードコール	通年	18回	100円	857人	
ビーチコーミング	通年	7回	200円	266人	
火起こし体験	通年	2回	200円	90人	
星空観察	通年	1回	300円	79人	
釣りゲーム	通年	1回	無料	26人	
フォトラリー	通年	37回	無料	2,547人	
③地域産業と連携したプログラム					
プレミアム探検ツアー	9/22	1回	2,000円、2,500円	32人	株横浜シーサイドライン主催
④防災キャンプ					
kids&junior 防災キャンプ	2/8～9	1回	500円	31人	てんでんこ金沢プロジェクト協力

事業名	実施日	回数	参加費(1人)	参加者数	備考
市民活動団体との協働事業の実施					
①自然体験キャンプの実施					
カヌー体験キャンプ in 野島	5/19～20、7/1～2	2回	4,000円	86人	NPO法人横浜金沢カヌークラブ共催
4days サマーキャンプ	8/6～7	1回	7,000円	20人	
のじまチャレンジキャンプ	9/29～30	1回	5,000円	38人	野島自然観察探見隊協力
1泊2日の秘密基地づくり	10/27～28	1回	5,000円	34人	NPO法人YPCネットワーク協力
②自然体験・文化体験教室の実施（日帰り）					
海の生き物観察会	5/12	1回	500円	51人	講師：自然体験教育研究会 NEES 代表 山田陽治
カヌー体験教室	6/3	2回	18歳未満1,000円 18歳以上2,000円	49人	NPO 法人横浜金沢カヌークラブ共催
こども陶芸教室	11/4	1回	1,200円	25人	講師：須藤義明他
親子クッキング教室					
和菓子づくり	1/26	1回	1,000円	41人	講師：和菓子処菊月
おさかなクッキング	2/2	1回	1,500円	35人	講師：料理研究家 長島由佳
③野島海岸の保全活動					
オールクリーン野島ビーチ	9/22、11/23、2/16	3回	無料	355人	実行委員会
C-う 青少年に体験機会や活動の場を提供する事業					
困難を抱える青少年のための体験活動支援					
①不登校児童生徒の宿泊体験の実施					
ハートフルスペース宿泊体験	11/21～11/22	1回	200～1,000円	85人	横浜市教育委員会共催
②障がいのある児童・生徒の宿泊体験の実施					
野島クリスマスキャンプ	12/15～12/16	1回	2,000円	87人	同実行委員会共催
事務局会・実行委員会	毎月1回程度		※実行委員会の収入	職員3人	4～1月
ボランティア説明会	12/2	1回		56人	障がい児理解研修
ふれあいの会	12/2	1回		56人	顔合わせ会
③困難を抱える青少年を対象とした宿泊キャンプの実施					
横浜市青少年相談センター宿泊キャンプ	10/8～10	1回	—	19人	横浜市青少年相談センター主催
ことぶき青少年広場の体験プログラム活動支援	10/14	1回	無料	20人	ことぶき青少年広場主催
オルタボイスキャンプ	11/17～18	1回	1,000円 ※主催団体の収入	57人	NPO法人多文化共生教育ネットワーク主催
職業体験活動の受け入れ	12/3、4	2回	無料	5人	中学校個別支援学級1校
わくわく生活キャンプ	12/26～12/27	1回	600円	1団体11人	ユース連携事業
地域交流事業					
①地域ネットワーク会議の実施					
	5/10、9/18、12/11	3回	無料	延べ19人	野島・乙船打町内会、野島公園
②地域住民と連携した文化活動教室の実施					
陶芸教室	5/12、14、15 10/5、6	5回	1,500円	56人	野島町内会主催
野島 de コグニサイズ体験講座	毎月1～2回	22回	300円 ※主催団体の収入	938人	金沢区主催
③地域との防災への取り組み					
合同防災訓練	10/1	1回	無料	職員4人	野島・乙船打町内会、野島公園連携
てんでんこ金沢プロジェクト主催事業への参加	7/15、8/14、8/22、 11/10	4回	無料	職員1人	横浜市協働事業
金沢区災害ボランティアネットワーク会議または てんでんこ金沢プロジェクト定例会への出席	毎月1回	12回	無料	職員1人	
④のじまオープンデー					
	2/24	1回	100円、300円	310人	
体験プログラムの調査研究					
①体験プログラムの検証	○自然体験キャンプ3事業の参加者を対象としたアンケート調査 ○体験プログラム実施校を対象にアンケートを実施				
②体験プログラムの改善・充実	○昨年度行った市内寄り添い支援、学習支援団体のヒアリング結果の一部を、 わくわく生活体験キャンプに反映				

主な事業項目の自己評価

体系	項目	自己評価
A あ	施設・設備貸出業務	<p>利用者が安全で効果的に研修目的が達成できるよう活動を支援するとともに、利用者ニーズを反映させたサービスを提供しました。</p> <p>昨年度から販売を始めた室内スリッパとキャンドルファイヤー用ろうそくは需要が高く、利用者サービスの向上とともに収入増につながりました。</p> <p>体験プログラムを実施するために、宿泊後も継続して研修室を利用する学校が毎年増加してり、日帰りの利用人数は昨年度よりも 2,050 人増加しました。</p> <p>宿泊利用 466 団体 21,618 人、日帰り利用：349 団体 15,359 人 事前打合せ会 35 回 延べ 226 団体</p>
	利用促進事業	<p>新規利用者の獲得をめざし、学校の部活動・サークル活動誘致を目的に、近隣の中学・高校・大学 19 校に直接訪問して PR を行うとともに、利用ニーズをヒアリングしました。</p> <p>また横浜市立大学運動部の会報誌に部活動の合宿誘致を目的とした広告を掲載しました。</p> <p>82 団体が新規に利用しました。</p>
A お	体験プログラムの調査研究	<p>体験プログラムを取り入れた学校を対象にアンケート調査を実施し、その結果を体験プログラムの開発・実施に反映させました。</p> <p>宿泊体験キャンプ 3 事業の参加者を対象に、事業の実施前後にアンケートを取りました。</p> <p>また昨年度実施した市内寄り添い型支援施設運営団体を対象に行ったヒアリング調査結果をもとに、もちつきやカルタなど季節行事を体験できるプログラムを「わくわく生活体験キャンプ」で取り入れました。</p>
B い	青少年指導者育成者研修	<p>青少年指導者・育成者を対象に、研修室やビジターホールなどを活用したレクリエーション講習「みんなでつくろう！キャンプファイヤー in のじま」を実施しました。</p>
	ボランティアの養成	<p>事業や体験プログラムに関わるボランティア活動や研修の機会を提供することで、青少年活動を支える人材を養成しました。</p> <p>高校生以上の青少年を対象とした施設ボランティア「のじボラ」では、延べ 41 人が宿泊や日帰り研修に参加するとともに、研修センター主催事業にボランティアとして参加し、職員が活動をサポートしました。</p> <p>地域住民を対象に、海での体験活動を支援するボランティアを育成することを目的とした講座「海あそび de ボランティア」を実施しました。受講者の約半数が、いかだ作りなど海で実施する体験プログラムにボランティアとして継続的に参加をしてくれました。</p>
C う	体験プログラムの提供	<p>カヌー・いかだ作り・干潟観察など野島特有の自然環境を活かしたプログラムや、厨房を活用した食育プログラムなど施設の特性を活かした体験プログラムを提供しました。また学校の学習カリキュラムに対応できるよう、星空観察の内容をリニューアルしました。</p> <p>(1) 施設の特性を活かしたプログラム (食育プログラム、レクリエーション、陶芸等) 参加件数：224 件 参加人数：13,844 人</p> <p>(2) 自然環境を活かしたプログラム (カヌー・いかだ、干潟観察、フォトラリー等) 参加件数：184 件 参加人数：10,730 人</p>

		<p>地域産業と連携したプログラムでは、(株)横浜シーサイドラインと「プレミアム探検ツアー」を実施したことで、鉄道雑誌などで研修センターの体験プログラムを案内することができました。</p> <p>防災プログラムでは、小学生以上の青少年とその保護者を対象とした「Kids&junior 防災キャンプ」を、てんでんこ金沢プロジェクトの協力を得て実施し、31人が避難所疑似体験をしました。</p>
	市民活動団体と協働した体験プログラム	<p>青少年に多くの体験機会を提供できるよう、市民活動団体やボランティアと協働して、宿泊体験や自然体験活動を提供する「自然体験キャンプ」、日帰り型で体験活動を提供する「自然体験・文化体験教室」、環境保全を目的とした「野島海岸の保全活動」を実施しました。</p> <p>自然体験キャンプでは、「4days サマーキャンプ」において、はじめて(一財)横浜港振興協会、特定非営利活動法人舞岡・やとひと未来と連携し、研修センターではできない体験活動を企画しましたが、天候不良のため実施には至りませんでした。</p> <p>自然体験・文化体験教室では、親子対象の新規事業「海の生き物観察会」、「和菓子づくり」(和菓子処菊月と連携)を実施し、家族と一緒に体験活動をする機会をつくりました。</p> <p>野島海岸の保全活動では、活動後に海をつくる会による自然保護に関する講義を実施し、中学生、高校生、大学生など多くの青少年が参加をしました。</p> <p>(1) 自然体験キャンプ 実施回数：5回 参加人数：178人 (2) 自然体験・文化体験教室 実施回数：6回 参加人数：201人 (3) 野島海岸の保全活動 実施回数：3回 参加人数：355人</p>
	困難を抱える青少年のための体験活動の支援	<p>日頃体験機会が乏しい青少年に多様な体験機会を提供するため、寄り添い支援施設に通う児童・生徒を対象とした「わくわく生活体験キャンプ」、不登校児童生徒を対象とした「ハートフルスペース宿泊体験」(横浜市教育委員会共催)、横浜市立小中学校の個別支援級の児童・生徒を対象とした宿泊体験及び日帰り活動「野島クリスマスキャンプ」を実施しました。</p> <p>また、困難を抱える青少年を対象とした宿泊キャンプ及び日帰り活動の支援や、近隣中学校の個別支援学級が行う職業体験の受け入れも行いました。</p>
	地域交流事業	<p>施設の活動及び青少年に対する理解を深めてもらうことを目的に、近隣地域と交流を深める事業を実施しました。</p> <p>研修センターが主体となり「地域ネットワーク会議」開催するとともに、会議で出された提案をもとに、近隣の町内会及び野島公園と連携し合同防災訓練を実施し、地域ぐるみで防災に取り組むことができました。</p> <p>「のじまオープンデー」では、のじボラが企画に携わりました。当日は22人の青少年ボランティアが地域の人たちに、体験プログラムの提供や施設の案内をするなど、研修センターのPRに青少年が貢献してくれました。</p>

平成30年度 「野島青少年研修センター」 収支予算書及び報告書

収入の部 (税込、単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	76,729,000		76,729,000	76,729,000	0	横浜市より
利用料金収入	15,300,000		15,300,000	14,927,950	372,050	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）収入	4,450,000		4,450,000	5,558,212	1,108,212	
自主事業収入	100,000		100,000	100,000	0	法人寄附金
雑入	500,000	0	500,000	420,556	79,444	
印刷代	20,000		20,000	60,820	40,820	
自動販売機手数料	400,000		400,000	353,546	46,454	自販機、売店賃料、電気料金含む
駐車場利用料金収入	0		0	0	0	
その他（ランドリー収入）	80,000		80,000	6,190	73,810	
収入合計	97,079,000	0	97,079,000	98,156,274	656,718	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	33,851,000	0	33,851,000	41,213,394	7,362,394	
給与・賃金	27,645,000		27,645,000	29,328,970	1,683,970	
社会保険料	4,644,000		4,644,000	4,072,771	571,229	
通勤手当	1,100,000		1,100,000	1,423,482	323,482	
健康診断費	70,000		70,000	63,246	6,754	
勤労者福祉共済掛金	42,000		42,000	36,000	6,000	
退職給付引当金繰入額	350,000		350,000	6,288,925	5,938,925	
事務費	3,012,000	0	3,012,000	2,589,532	422,468	
旅費	0		0	109,830	109,830	
消耗品費	2,020,000		2,020,000	975,685	1,044,315	利用者用トイレトペーパー、洗剤、蛍光灯等の施設管理消耗品を含む。
会議賄い費	0		0	12,000	12,000	
印刷製本費	160,000		160,000	29,700	130,300	
通信費	52,000		52,000	398,235	346,235	
使用料及び賃借料	300,000	0	300,000	402,584	102,584	
横浜市への支払分	300,000		300,000	402,584	102,584	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	100,000		100,000	247,320	147,320	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	180,000		180,000	146,300	33,700	自動車保険料含む
職員等研修費	0		0	8,548	8,548	
振込手数料	0		0	32,184	32,184	
リース料	200,000		200,000	223,680	23,680	コピー機リース料
手数料	0		0	3,466	3,466	
地域協力費	0		0	0	0	
事業費	5,417,000	0	5,417,000	4,701,347	715,653	
自主事業（指定管理料充当の自主事業）費	5,317,000		5,317,000	4,601,347	715,653	
自主事業費	100,000		100,000	100,000	0	野島クリスマスキャンプ負担金
管理費	50,624,000	0	50,624,000	45,007,445	5,616,555	
光熱水費	15,842,000	0	15,842,000	13,850,963	1,991,037	
電気料金	7,242,000		7,242,000	6,302,845	939,155	
ガス料金	4,300,000		4,300,000	4,258,691	41,309	
水道料金	4,300,000		4,300,000	3,289,427	1,010,573	
清掃費	11,000,000		11,000,000	10,539,774	460,226	
修繕費	3,000,000		3,000,000	596,160	2,403,840	
機械整備費	250,000		250,000	220,320	29,680	
設備保全費	13,530,000	0	13,530,000	11,930,975	1,599,025	
空調衛生設備保守	8,000,000		8,000,000	2,290,032	5,709,968	
消防設備保守	350,000		350,000	280,800	69,200	
電気設備保守	220,000		220,000	7,049,160	6,829,160	
害虫駆除清掃保守	260,000		260,000	189,000	71,000	
駐車場設備保全費	0		0	0	0	
その他保全費	4,700,000		4,700,000	2,121,983	2,578,017	ボイラー、自家発電、ろ過器、冷水器、中央監視盤、エレベーター ほか
共益費	7,002,000		7,002,000	7,869,253	867,253	ゴミ処理委託、リネン、マット交換 ほか
公租公課	4,100,000	0	4,100,000	3,831,690	268,310	
事業所税	0		0	0	0	
消費税	4,100,000		4,100,000	3,807,690	292,310	
印紙税	0		0	20,000	20,000	
その他（軽自動車税）	0		0	4,000	4,000	
事務経費（計算根拠を説明欄に記）	75,000	0	75,000	0	75,000	
本部分	0		0	0	0	
当該施設分	75,000		75,000	0	75,000	
二一ズ対応費	0		0	0	0	
支出合計	97,079,000	0	97,079,000	97,343,408	264,408	
差引	0	0	0	812,866	392,310	

自主事業費収入	4,550,000			100,000	
自主事業費支出	5,417,000			100,000	
自主事業収支	867,000			0	

管理許可・目的外使用許可収入	500,000			353,546	
管理許可・目的外使用許可支出	300,000			402,584	
管理許可・目的外使用許可収支	200,000			49,038	